

# 財務応援Ai企業会計 決算処理における“こんなときには”

---

**決算報告書作成の流れと  
よくあるお問い合わせについて説明します。**

# 決算処理の流れ

---

**決算処理の流れについて説明します。**

# 決算処理の流れ

## 【Step1】仮伝票の承認 (伝票承認機能の使用時のみ)

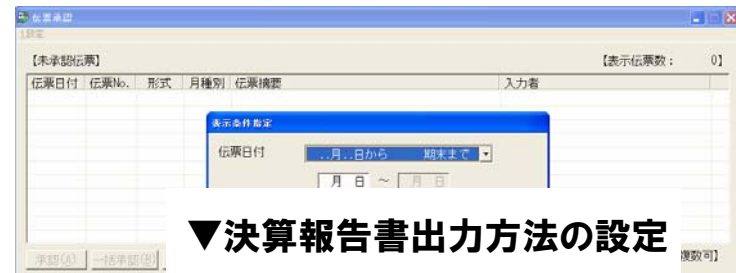
伝票承認機能を使用している場合は、  
必要な仮伝票の承認を済ませます。

## 【Step2】決算報告書作成の準備

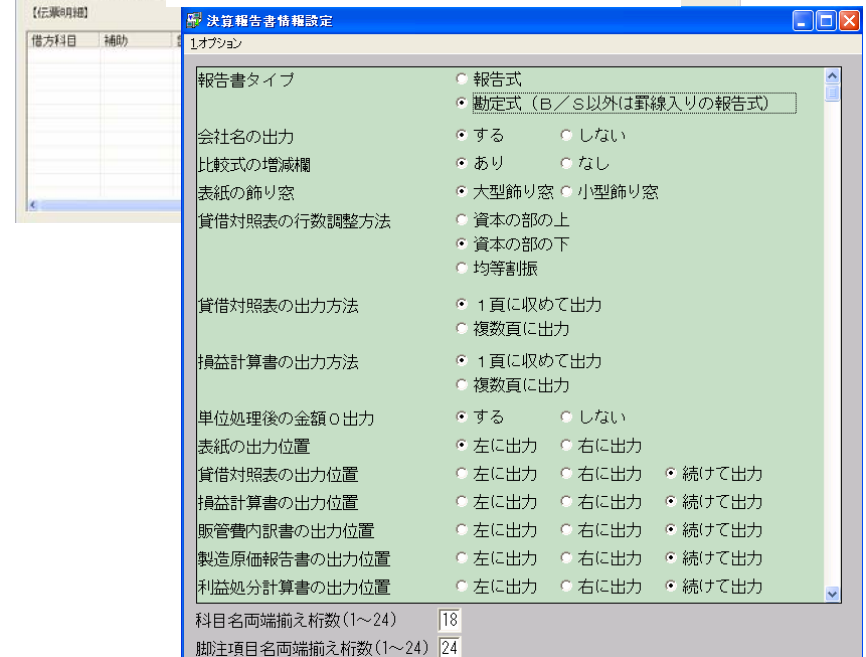
決算報告書作成の準備として、次の情報を  
を設定します。

- 出力方法の設定
- 脚注項目の設定
- 利益処分項目の設定
- 監査報告文の設定

### ▼伝票承認



### ▼決算報告書出力方法の設定



# 決算処理の流れ

## 【Step3】決算書科目の設定

決算報告書に出力する決算書科目を設定します。

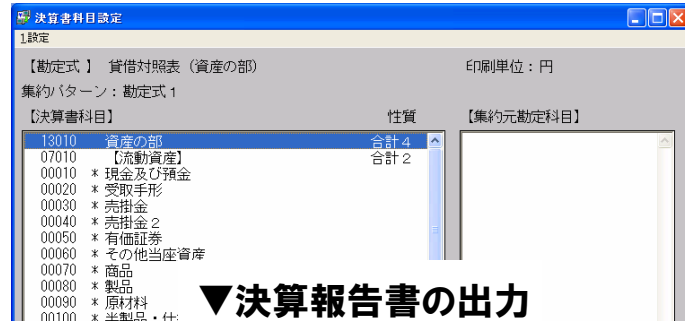
## 【Step4】決算報告書の出力

決算報告書を出力します。

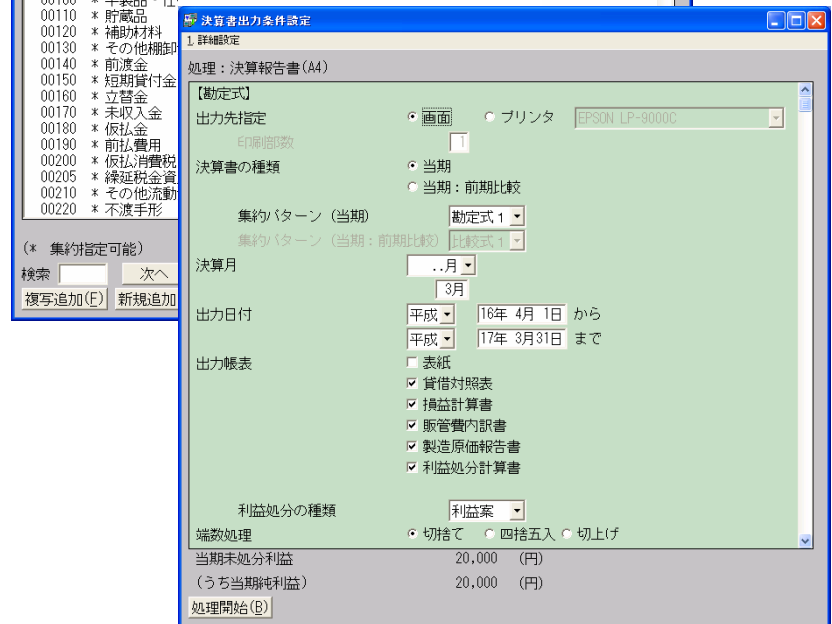
## 【Step5】更新処理

翌期伝票を入力するために、決算確定前に更新処理を行います。(残高が確定したら「確定更新」を行います。)

### ▼決算書科目設定



### ▼決算報告書の出力



# 決算処理に関するよくあるお問い合わせ

---

**決算処理に関するよくあるお問い合わせについて  
説明します。**

# 決算書科目の名称を変更するにはどうしたらいいですか

## A F3タブ⇒[決算書科目設定]の[変更]ボタンで変更してください

### ▼[決算書科目設定]画面

1設定

【勘定式】 貸借対照表 (資産の部)  
集約パターン: 勘定式 1

【決算書科目】

13010	資産の部	合計 4
07010	【流動資産】	合計 2
00010	* 現金及び預金	
00020	* 受取手形	
00030	* 売掛金	
00040	* 売掛金 2	
00050	* 有価証券	
00060	* その他当座資産	
00070	* 商品	
00080	* 製品	
00090		
00100		
00110		
00120		
00130		
00140	* 前渡金	
00150	* 短期貸付金	
00160	* 立替金	
00170	* 未収入金	
00180	* 仮払金	
00190	* 前払費用	
00200	* 仮払消	
00205	* 繰延税	
00210	* その他	
00220	* 不渡手形	

【集約元勘定科目】

163	売掛金 2
-----	-------

( \* 集約指定可能 )

検索  次へ 前へ 先頭から 検索  次へ 前へ 先頭から

複写追加(F) 新規追加(S) **変更(U)** 移動(M) 削除(D) 集約元勘定科目設定

- ①・報告書タイプ(報告式/勘定式/比較式)  
・集約パターン(パターン1~5)  
・帳表区分(B/S資産の部、PL等)選択します

②名称を変更する決算書科目を選択します

③【変更】を押します

### ▼[決算書科目変更]画面

決算書科目変更

【勘定式】 貸借対照表 (資産の部)  
集約パターン : 勘定式 1

性質 : 通常科目  
合計レベル : 0

決算書科目

④名称を変更します

加算情報  【流動資産】  
貸借性質  借方  貸方

# 決算書科目の出力順を変更するにはどうしたらいいですか

## A F3タブ⇒[決算書科目設定]の【移動】ボタンで変更してください

### ▼[決算書科目設定]画面

1設定

【勘定式】 貸借対照表 (資産の部)  
集約パターン: 勘定式 1

【決算書科目】 性質

13010	資産の部	合計 4
07010	【流動資産】	合計 2
00010	* 現金及び預金	
00020	* 受取手形	
00030	* 売掛金	
00040	* 売掛金 2	
00050	* 有価証券	
00060	* その他当座資産	
00070	* 商品	
00080	* 商品	

【集約元勘定科目】

163	売掛金 2
-----	-------

00140 \* 前渡金  
00150 \* 短期貸付金  
00160 \* 立替金  
00170 \* 未収入金  
00180 \* 仮払金  
00190 \* 前払費用  
00200 \* 仮払消  
00205 \* 繰延税  
00210 \* その他  
00220 \* 不渡手形

(\* 集約指定可能)

検索  次へ 前へ 先頭から 検索  次へ 前へ 先頭から

複写追加(F) 新規追加(S) 変更(U) **移動(M)** 削除(D) 集約元勘定科目設定(K)

- ①・報告書タイプ(報告式/勘定式/比較式)  
・集約パターン(パターン1~5)  
・帳表区分(B/S資産の部、PL 等) 選択します

②出力順を変更する決算書科目を選択します

③【移動】を押します

④移動先の科目を選択して【OK】を押します。  
⇒指定した移動先科目の直前に移動します。

【決算書科目】

13010	資産の部
07010	【流動資産】
00010	* 現金及び預金
00020	* 受取手形
00040	* 売掛金 2
00030	* 売掛金
00050	* 有価証券
00060	* その他当座資産
00070	* 商品

売掛金と売掛金2  
の順序が逆になりました。

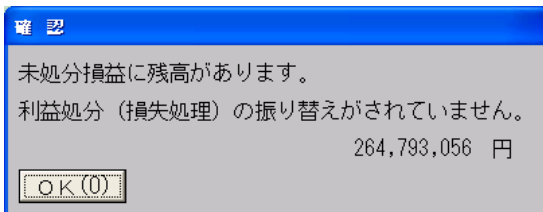
# 決算書作成時「利益処分(損失処理)の振替がされていません。」のメッセージが表示されます

**A 利益処分の仕訳を入力し、「未処分損益」の残高をゼロにしてください。**

⇒「未処分損益」に残高がある場合に表示されます。

利益処分方法が確定したら、未処分損益の残高を利益処分項目(利益準備金や、繰越損益など)に振替える仕訳を入力してください。

## ▼確認メッセージ



## ▼[伝票入力・訂正]画面





# 決算書作成時「当期末処分利益の設定金額が会社残高と異なっています。」のメッセージが表示されます

**A** メッセージに対し【OK】を押して、値を置き換えてください。

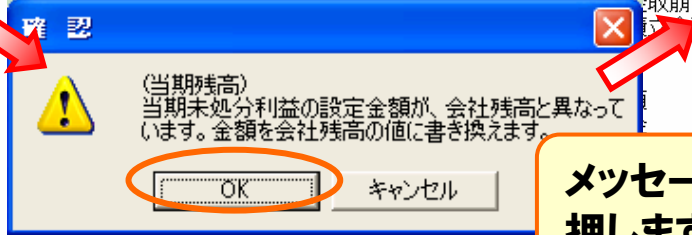
⇒「利益処分項目設定」に設定されている当期末処分利益の額と、現在の会社残高(当期末処分利益)が一致していない場合に表示されます。【OK】を押して、値を会社残高に置き換えてください。

## ▼置き換え前

利益処分項目設定			
【勘定式】		決算月： 3月	
【当期末処分損益 利益処分】			
	性質	(当期)	(円)
空行 ×			
10010	当期末処分利益の処分	合計 4	0
02010	当期末処分利益	当未処分	0
02020	任意積立金取崩高	合計 1	0
00010	別途積立金取崩高		0
00020	配当平均積立金取崩高		0
03010	合計		0
02030	利益処分額		0
00030	利益準備金		0
00040	配当金		0
00050	役員賞与金		0
00060	うち監査役員賞与金		0
00070	別途積立金		0
00080	任意積立金		0
04010	次期繰越利益		0

## ▼置き換え後

利益処分項目設定			
【勘定式】		決算月： 3月	
【当期末処分損益 利益処分】			
	性質	(当期)	(円)
空行 ×			
10010	当期末処分利益の処分	合計 4	5,000,000
02010	当期末処分利益	当未処分	5,000,000
02020	任意積立金取崩高	合計 1	0
00010	別途積立金取崩高		0
00020	配当平均積立金取崩高		0
03010	合計		5,000,000
02030	利益処分額		0
00030	利益準備金		0
00040	配当金		0
00050	役員賞与金		0
00060	うち監査役員賞与金		0
00070	別途積立金		0
00080	任意積立金		0
04010	次期繰越利益		5,000,000



メッセージに対して【OK】を押します。

# 決算確定前に翌期仕訳を入力するにはどうしたらいいですか

- A 翌期更新を行い、翌期データを作成してください。  
翌期分の仕訳は翌期の会社データに入力します。**

## ▼ [翌期更新]画面

翌期更新

データベース：システム標準

当期会社：  
AiZ1 16. 4. 1

データ  
翌期会  
AiZ1 エーアイ電機株式会社 17. 4. 1

**① 翌期更新  
(翌期データを作成します)**

翌期用の会社を新規に  登録する  登録しない

翌期会社の更新方法  確定更新  再更新

処理開始(B) キャンセル(C)

## ▼ [会社選択]画面

会社選択: 企業会計システム Ver.1.20

データベース システム標準 会計期間

AiZ1	エーアイ電機株式会社	16. 4. 1 ~ 17. 3.31
AiZ1	エーアイ電機株式会社	17. 4. 1 ~ 18. 3.31
EPSON01	エプソン (標準会社 般法人01)	15. 4. 1 ~ 16. 3.31

**② 決算確定までは、当期データ/翌期データを切り替えながら入力します**

翌期更新

データベース：システム標準

当期会社：  
AiZ1 エーアイ電機株式会社 16. 4. 1

データ  
翌期会  
AiZ1 エーアイ電機株式会社

データベース システム標準

翌期会社：  
AiZ1 エーアイ電機株式会社

翌期用の会社を新規に  登録する  登録しない

翌期会社の更新方法  確定更新  再更新

処理開始(B) キャンセル(C)

**③ 当期の残高が確定したら「確定更新」で残高の移行を行い、翌期の期首残高を更新します**

# 「確定更新」と「再更新」の違いについて教えてください

A 次のような違いがあります。

▼**確定更新**・・・翌期更新処理後、当期の伝票を入力・訂正・削除した場合に行います。確定更新を行うと、当期の期末残高を翌期の期首残高に転記します。

確定更新は何回行ってもかまいません。

▼**再更新**・・・翌期更新をもう一度やり直したい場合などに、再更新を行います。再更新を行うと翌期会社のデータはすべて削除されて、新規更新をしたときの状態に戻りますので注意してください。

## ▼[更新処理]画面

翌期更新

データベース: システム標準

当期会社:  
AiZi エーアイ電機株式会社 17. 4. 1

データベース: システム標準

翌期会社:  
AiZi エーアイ電機株式会社 18. 4. 1

翌期用の会社を新規に  登録する  登録しない

翌期会社の更新方法  確定更新  再更新

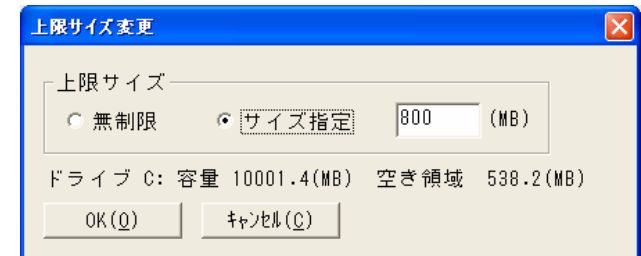
処理開始(B) キャンセル(C)

確定更新/再更新 を選択  
します。

# 2 翌期更新中にデータベースの容量不足が生じた場合、どのように対処すればいいですか

A 以下のいずれかの対処をしてください。

- ① 過年度データを削除することで、データベースの容量を確保する  
過年度データなど当面必要のないデータは、[ファイル変換ツール]で保存後、会社を削除します。
- ② データベースの拡張サイズを増やす
  - ☆ スタンドアロン版、2ユーザー版、ブランチ版  
1つあたりのデータベースの上限サイズは2GBまで
  - ☆ 3ユーザー以上  
データベースサイズに上限はありません。(HDDの容量に準じます)
- ③ ローカルデータベース、外部データベースの追加  
ローカルデータベース、外部データベースへ過年度データを移行することで現在のデータベース容量を確保します。



# 更新後に前期の仕訳を修正したい場合はどうすればいいですか

**A** 前期データで仕訳を修正後、「確定更新」を行ってください。

※前期データで「月締処理」を行っている場合は、修正したい月の月締めを解除後、訂正してください。

## ▼仕訳の訂正

伝票入力・訂正 【AiZ1 : エーアイ電機株式会社 16.4.1】

1環境設定 2入力支援 3一覧表示 4伝票辞書 5ヘルプ

【伝票参照】 承認者: 0899620 振替伝票

3月 31日 (期末) No. 1 (振替) 伝票摘要

行	借方科目/借方部門	金額/消費税/資区	貸方科目/貸方部門	金額/消費税/資区	期 日
1	773 貸倒引当金繰入 31 大阪支店	406,000	199 貸倒引当金	806,945	
2	773 貸倒引当金繰入 32 福岡支店	400,945			
3					
4					
5					
6					
借方合計		806,945	貸方合計	806,945	差

【検索伝票: F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10  
削除 伝票入力 次頁 前頁 次伝票 前伝票 条件設定 訂正

## ▼確定更新

翌期更新

データベース: システム標準

当期会社:  
AiZ1 エーアイ電機株式会社 16.4.1

データベース: システム標準

翌期会社:  
AiZ1 エーアイ電機株式会社

翌期用の会社を新規に  
翌期会社の更新方法

確定更新  再更新

処理開始(B) キャンセル(C)

必ず「確定更新」を選択します。  
「再更新」は選ばないでください。

# 更新後に前期データで科目や補助科目を追加し、仕訳入力を行った場合、確定更新はできますか

- A** 補助科目は翌期データに追加されていなくても確定更新が可能です。科目の場合は確定更新不可です。翌期データにも同様にマスターを追加後、確定更新を行ってください。

## <補足>

補助科目の場合、追加したマスターが翌期データになくても確定更新は可能ですが、できるだけ翌期データにも補助科目を追加後、確定更新を行ってください。

## (理由)

翌期データに補助科目が追加されていないと、その分の期首残高を持たないため勘定科目の期首残高と補助科目の期首残高計とか合わなくなってしまう。

## ▼更新後データの[期首残高]設定画面

当期残高設定

【期首】	<補助科目>	(借)	(貸)
111	みずほ銀行 当座	230,000	0
	補助科目計	180,000	0
	差額	50,000	0
10	新宿支店	80,000	0
11	池袋支店	100,000	0

勘定科目の期首残高と補助科目の期首残高計とが合わなくなります。

もしこのような現象になったら...

更新後のデータにマスターを追加後、再度確定更新をしてください。

# 更新後に前期データで部門を追加し、仕訳入力を行った場合、確定更新はできますか

**A** 該当部門の部門別残高がB/S科目で発生していなければ確定更新可能です。B/S科目で該当部門の残高が発生している場合は確定更新ができませんので、翌期データで部門を追加後、確定更新を行ってください。

## ▼[部門別当期残高設定]画面

部門別当期残高設定

1設定

【期首】 3 福岡営業課

	(借)	(貸)
501 商品売上高	0	0
502 製品売上高	0	0
503 売上高3	0	0
504 売上高4	0	0
505 売上高5	0	0
518 売上値引・戻り高	0	0
551 期首棚卸高	0	0
552 商品仕入高	0	0
553 仕入高2	0	0
554 仕入高3	0	0
555 仕入高4	0	0
556 仕入高5	0	0
568 仕入値引・戻し高	0	0
557 仕入等配賦額	0	0
601 期首材料棚卸高	0	0
602 材料仕入高	0	0
603 材料仕入高2	0	0
609 期末材料棚卸高	0	0

(\* 補助科目あり)

検索  次へ 前へ 先頭から

次画面(N) 前画面(B) 補助設定(H) 残高チェック(C) **残高追加(A)** 残高削除(D)

**【残高追加】より、部門別残高管理科目を追加することができます。**

# 更新後の翌期データで科目や補助科目、部門を削除することができますか

- A** 翌期データで期首残高(部門別含む)および前期各月残高(部門別含む)をクリアすれば削除可能です。ただし、翌期データで科目を削除すると、その後確定更新が行えなくなります。前期決算が確定し、翌期の期首残高が最新の状態になったあとに、翌期での科目削除を行ってください。

メインメニュー: 企業会計システム Ver.1.20  
 エプソンの総合会計ソフト  
 財務応援AI 企業会計

AiZ1 エーアイ電機株式会社 17.

【現在選択中のメニュー: 設定(その他)】

1 日常業務 | 2 月次業務 | 3 部門別・予算・決算 | 4 明細・詳細管理 | 5 資金繰 | 6 勘定(科目等) | 7 設定(その他)

会社情報設定

- 11. 会社情報設定
- 12. 任意項目運用設定
- 13. 消費税情報設定
- 14. 帳表出力方法設定
- 15. 合併条件設定
- 16. 決算報告書情報設定
- 17. 環境設定 (伝票作成)
- 18. 共通情報設定
- 19. 電子帳簿保存情報設定

残高設定

- 21. 当期残高設定
- 22. 部門別当期残高設定
- 23. 前期残高設定
- 24. 部門別前期残高設定
- 25. 前期残高一覧表
- 26. オートクローザ手動設定
- 27. メニューのカスタマイズ

他システムとの連動

- 31. 予算データ取り込み
- 32. 外部データ出力
- 33. 外部データ取り込み

【ユーザーレベル: 全権限保持レベル      セキュリティ管理者 データベース管理者      ログイン名: 0899620】

終了(E)   ヘルプ(H)    処理起動後メニューを最小化(S)    オートクローザ(O)

**<当期残高の設定>**  
 [設定(その他) タブ] ⇒ [21.当期残高設定]  
 [22.部門別当期残高設定]

**<前期残高の設定>**  
 [設定(その他) タブ] ⇒ [23.前期残高設定]  
 [24.部門別前期残高設定]